

勝山市の未来を拓く会代表

乾議員

新年度予算について

問 自主財源となる市税収入が年々減少し、24年度予算では1億3000万円の税収減になっている。総力をあげて減収傾向に歯止めをかけねばならない。そして将来に向けて期待と希望がもてる事業推進ができる投資的経費、政策費の財源を確保する必要がある。

まずは産業界の振興支援、とりわけ若者が働く場の確保に全力をあげ、納税者人口の減少を何とか食い止めて、固定資産税、住民税等の増収につながる道を切り開かねばならない。産業振興は市の存亡に関わる極めて重要な事項。もっと強化すべき。産業振興をどのようにつ考え、どこに焦点を定め進めているか。

答 大変不透明な経済状況ではあるが、事業の拡大支援を初めとして、事業再構築のための環境整備、技術開発に関する助成による技術活性化の支援、さらにはベンチャー企業の育成など、これら施策を複層的に展開しながら「内発型の産業振興」を今後めざしていきたいと考えている。

その他の質問

・北陸新幹線 中部縦貫自動車道開通への対応について
・英語教育について—会話力の向上—

屋根雪おろしの安全対策について—命綱—

問 屋根雪おろし作業事故が増えている。高齢化が進む中で今後の増加を危惧する。防災行政無線で命綱をつけることを呼びかけているが、今の家の構造では簡単にロープを装着できないのが現実。建築関係者にご協力をいただいて、屋根の一番高いところ、棟の敷力所に命綱をくくりつける棒が突起物を設置できるようない見本を考察していただけないか。市民がその器具を備えつけていただくことで、少しでも落下事故を防ぎたい。所見を伺う。

答 23年度も、22年度に続き3年連続の大雪となり、除雪作業中の事故も多数発生した。

屋根雪おろしの際の安全対策としては、命綱が一番と思われるが、勝山市建築業組合の話の中で、そのアンカーのとり方など課題も多いようである。いろいろな方法があると思うが、この件について、現在、区長連合会と共同で取り組んでいる勝山市総合克雪・利雪・親雪計画の中で、除雪作業の安全対策として組み込めないか検討する。

一般質問

帰山議員

当市教育のあり方について

問 ①奥越明成高校への通学補助と、勝山高校の志願者減少に勝山市として対応が必要ではないか。
②小中学校への、大型映像機器等の配備予定は。
③木下竹次氏の資料や功績を市の教育に活用すべき。

答 ①大野方面への通学に伴うバス運賃の負担支援について、一方で福井方面の高校に通う生徒の負担額がより多いことを考えると難しい課題であろうと考えている。今後さらに大野への通学生が増えた場合の対応については、利用状況等を把握し、関係機関と協議し検討していきたい。勝山高校への進学に関して、当然、勝山高校も定員に届かない状況を打開しなければならぬ、市としても今後、より多くの勝山の生徒が同校へ進学するよう、中学校における教育と指導の充実に加え、さらに力を入れていきたい。

② 24年度予算において計画している中学校への大型テレビ等の配置については、効率的でわかる授業の推進のために配置したい

その他の質問

・社会資本の維持管理について
・観光と文化振興策について
・出産支援体制の強化について

と考えている。この配置は、高度な内容を学習する中学校でまず行い、その活用状況や今後の財政状況をにらみながら小学校への配備も検討していきたい。
③ 木下竹次先生については、その功績等が十分整理されていないというのが現状であり、今後の課題であるかと考えている。

なお、ご指摘があった奈良女子大学附属小学校の学習研究会には勝山の学校からも今まで多くの教員が参加し研究を深め、それを持ち帰り授業の参考にしている。今後必要に応じて当該研究会へ参加をしていきたい。



大型テレビ等を使った授業活用例